

■配置・平面計画案について 避難施設機能検討(案)



①建物内からグラウンドへのスムーズな動線確保

①東西からグラウンドへ避難できる動線の確保

②体育館・多目的ホールが利用しやすいマンホールトイレの設置
②避難者受付や物資の荷捌きとなる防災広場

②1Fに要配慮者用の冷暖房完備の避難場所
②対策本部や物資倉庫設置の検討

②プールの水は避難時の生活用水として利用を検討

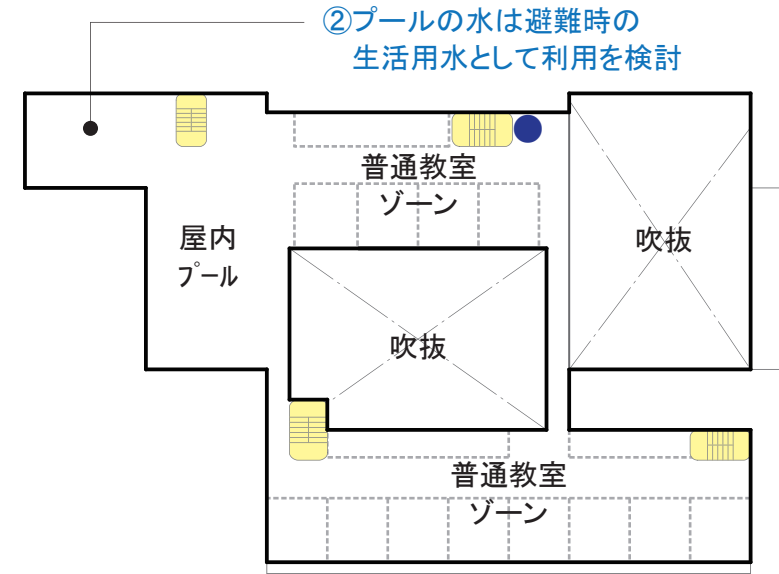
②地域玄関から利用しやすい防災広場と連携しやすい位置にアリーナ(避難施設)を設置

『災害時の段階の色分け』
①発災直後～避難(初期活動期)
②避難直後～学校再開(応急活動期)
■凡例
← グラウンドへの避難動線
●:エレベータ

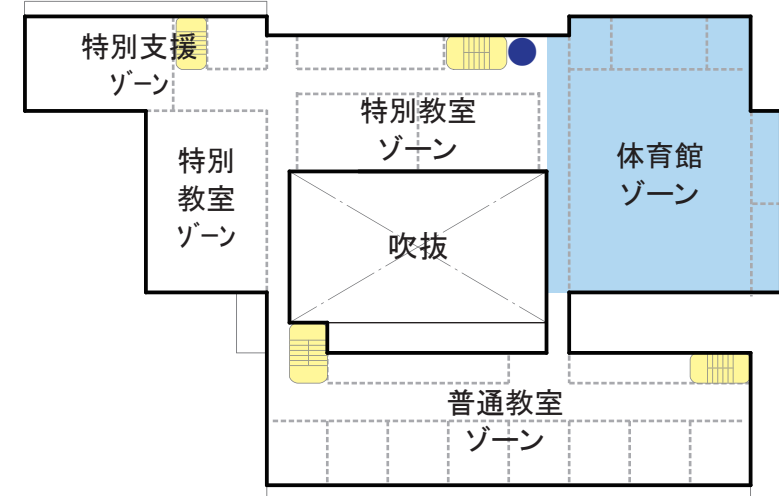
【マンホールトイレ設置基数の基準】
避難者75人に対し1基かつ10基以上を整備

※マンホールトイレ整備事業計画書(町田市下水道部下水道整備課)による

※1: グラウンド下の必要緑化面積(想定)
東京における自然の保護と回復に関する条例による必要面積から、既存緑地面積及び敷地外周部に想定した緑地面積を除き算出。



3階イメージ S=1/1000



2階イメージ S=1/1000

- キーワード例
- ・避難施設と地域出入口の位置関係
 - ・対策本部の場所
 - ・避難者受付の場所
 - ・要配慮者の避難場所
 - ・プライバシーへの配慮
 - ・備蓄倉庫の位置
 - ・プールの水の活用
 - ・マンホールトイレの位置
 - ・コンセント
 - ・通信環境(Wi-Fiなど)
 - ・物資の荷捌き場の位置
 - ・ペットの避難場所

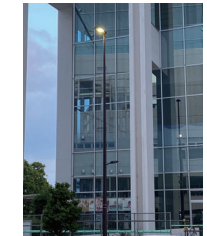
○防災設備イメージ



マンホールトイレイメージ



備蓄倉庫イメージ



消えないまちだ君 Wi-Fi街だ君



既存発電設備